

〔国際会議開催〕

申請者	東京大学工学系研究科 助教 山田 健太	2045019
国際会議名称	Social Modeling and Simulations+Econphysics Colloquium 2014 (SMSEC 2014)	
開催期間	2014年11月4日～11月6日	
開催場所	ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター (神戸市中央区)	
申請者の役割	事務局長	

概要：

本会議は、社会シミュレーションと経済物理学が共同で行う世界初の国際会議であり、社会シミュレーション、情報科学、統計数理、経済物理などの第一線の研究者が一堂に会し互いの垣根を超えて議論を行い、諸分野における成果や課題を共有することにより、新たなアイデアが創発され、分野を超えた共同研究につながる研究者間のネットワーク構築を目指しました。

新たな試みでしたが、会議には当初の予定を上回る計174名(日本人：111、外国人：63)の参加者があり、151件(招待講演：21、口頭発表：77、ポスター発表：53)の発表が行われました。

黎明期からこの分野に関わってきたオーガナイザーらのネットワークを活用することにより、社会シミュレーション、統計数理、経済物理の各分野より世界的に著名な基調講演者を揃えました。その結果、各分野の研究者が集まり、活発に議論が行われ、社会シミュレーションと経済物理学、それぞれ単独の開催では不可能であった知識の共有やアイデアの創発がされました。

若手研究者にとっては、普段交流のないコミュニティーの研究者とディスカッションを行える貴重な機会となり、キャリア形成にも効果的でした。ポスター発表にはポスター賞を設定し3名の若手研究者が受賞し、若手研究者による萌芽研究を奨励する活動として有意義でした。また、京コンピュータの見学会を2回行いました。世界トップクラスのスーパーコンピュータを間近で見られたと大変好評でした。

本会議の内容は、Springerの特別号として2015年に上梓される予定です。